平成 25 年４月１日

各　　位

会 社 名　株式会社アドテック
代表者名　代表取締役社長　　小野　鉄平
（JASDAQ・コード番号　6840）
問合せ先　取締役管理本部長　五十嵐　英
（TEL. 03-5427-6901）

貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 25 年４月１日開催の取締役会において、平成 25 年３月期決算において貸倒引当金繰入額（特別損失）を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．貸倒引当金繰入額（特別損失）の内容

(1) 取引先、債権の種類及び債権額

①	ビィーゴ株式会社（以下「同社」）に対する貸付金債権	10,000 千円
②	同社代表取締役鈴木暢晃氏（以下「鈴木氏」）に対する同社株式の売買代金	30,000 千円
③	合計	40,000 千円

(2) 貸倒引当金計上の経緯

当社は、平成 24 年６月 27 日付「業務提携及び第三者割当増資引き受け並びに新製品の取扱い開始に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、収益力向上と新たなビジネスチャンスの獲得を目的として、同社と資本・業務提携に関する基本合意書を締結し、同社に対し開発資金として 10,000 千円の貸付を行うとともに、同社株式 1,500 株の引受代金として 30,000 千円の払込を行いました。

しかしながら、平成 24 年８月 23 日付「ビィーゴ株式会社との資本業務提携の解消及び新製品の取扱いの中止に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、開発や営業等の具体的な製品戦略において同社との間に合意が得られず、同社との資本・業務提携を解消しております。

上記貸付金及び株式引受代金の返金方法について、平成 24 年９月 28 日付で、貸付金債権 10,000 千円につきましては、平成 25 年３月 31 日を期日としてこれを一括弁済する旨の債務承認弁済契約を同社と締結するとともに、鈴木氏との間で、同社株式 1,500 株を鈴木氏に譲渡し、その代金 30,000 千円の払込期日を平成 25 年３月 31 日付とする旨の株式譲渡契約を締結しております。

また、両債権の担保を目的として、平成 24 年９月 28 日付で、同社の製品である高濃度酸素発生器 100 台を譲り受ける旨の動産譲渡担保設定契約を同社と、鈴木氏の保有する同社株式のうち 1,500 株に対して質権を設定する旨の株式質権設定契約を鈴木氏と締結しております。

しかしながら、平成 25 年４月１日の払込期日（約定期日が日曜日であるため翌営業日が期日となります。）を経過したものの、本日現在同社及び鈴木氏より各払込はなされておりません。当社におきましては、同社製品並びに同社株式 1,500 株に対して担保権を設定するなど、保全を図ってはおりますが、当該債権の回収見込みを保守的に検討した結果、当該債権全額について引当金を計上することとしたものであります。

なお、同社は本リリース発表日現在も営業を継続しており、現在も、当社との間で返済方法等について協議をしております。

当社といたしましても、弁護士等とも協議の上、引き続き全額回収できるよう努めてまいります。

2．ビィーゴ株式会社の概要

(1) 商号	ビィーゴ株式会社	
(2) 本店所在地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目6番3号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長　鈴木　暢晃	
(4) 事業内容	酸素発生器の製造販売、レンタル並びに輸出入業、医療器具及び医薬部外品の製造販売並びに輸出入業	
(5) 資本金の額	65,000千円	
(6) 設立年月日	1992年 2月12日	
(7) 大株主及び持株比率	鈴木　暢晃（持株比率73.81%）	
(8) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	開発資金として10,000千円貸付を行っております。
	人的関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態

	2009/12期	2010/12期	2011/12期
総資産	114,242	109,215	100,834
純資産	67,817	67,900	76,418
1株当たり純資産（円）	16,728.47	16,748.90	18,850.17
売上高	204,861	197,346	201,621

（単位：千円）

3．業績に与える影響について

平成25年3月期業績予想につきましては、本日別途発表しております「為替差損の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、平成24年12月に就任した新たな経営体制の下で、業績回復及び企業価値向上に向け、本業の建て直しに注力してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以　上